



優先検討課題に関するグリーンリストの改訂の方向性について

2026年1月15日

環境省 大臣官房 環境経済課 環境金融推進室

第7回WGの議論を踏まえた 検討方針及び論点について

今年度の検討の進め方

- 昨年度WG及び第7回WGでの議論を踏まえ、特に優先的に検討すべき課題（優先課題）を中心に改訂に向けた議論を進める。

<主な検討課題と優先課題>

※青字：優先課題（昨年度から継続） 赤字：優先課題（今年度新規）

主な検討課題

検討課題①：新規策定又は改訂が行われた国内計画等に基づいた資金使途例等の拡充

検討課題②：ヒアリング・発行事例等に基づいた資金使途例の拡充

検討課題③：グリーンプロジェクトに寄与する事業の考え方の整理

検討課題④：国際的なガイダンス等に基づいた資金使途例等の拡充

検討課題⑤：各大分類に係る法令・計画・制度・基準等に関する考え方の整理

検討課題⑥：研究開発の対象や考え方

検討課題⑦：資源循環に関する小分類の更なる整理

検討課題⑧：ネガティブな環境効果の更なる整理・充実化

優先課題として
検討・整理を実施

※優先課題は優先度及び想定される検討作業量も踏まえて選定

※記載順は必ずしも優先順位を示すものではなく、また、今年度優先課題としない課題についても継続的に動向調査等は実施

検討課題①【優先課題】 新規策定又は改訂が行われた国内計画等に基づいた資金使途例等の拡充

検討方針

- 昨年度の改訂以後に新規策定又は改訂が行われた国内計画等を踏まえて、現行のグリーンリストにおいて記載のないキーワードについて、追記・修正を検討する。

主な論点

- 昨年度の改訂以後に新規策定又は改訂が行われた国内計画等として以下が挙げられる。これらを主な調査対象として、追記・修正を検討してはどうか。

主な調査対象候補

- GX2040ビジョン（令和7年2月18日）
- 地球温暖化対策計画（令和7年2月18日）
- 政府実行計画（令和7年2月18日）
- 温室効果ガス排出削減等指針（令和7年4月16日公布・適用）
- 温室効果ガス排出削減等指針 ファクトリスト（令和6年3月公表）
- 再資源化事業等の高度化に係る認定制度（令和7年11月施行）

- その他に今年度において考慮すべき国内計画等はあるか。また、どのような基準で選定すべきか。
- なお、グリーンリストは例示であるということから、誤解を与えないよう、認証制度などの数値基準を示す要素が強いものは外すということによいか。

第7回WGにおける主なご意見

- グリーンリストがタクソノミーに近づいている印象を与えないように、数値基準などの議論へ安易に波及しないようにすることの工夫が必要である。
- グリーンリストの目的が、発行体に広く活用してもらうための支援なのか、最低限のグリーン活動を守ってもらうための基準提示なのかによって設計は異なるだろう。

検討課題②【優先課題】 ヒアリング・発行事例等に基づいた資金使途例の拡充

検討方針

- ・ ヒアリング、発行事例の調査、意見募集等を行い、資金需要を踏まえた資金使途例の拡充を行う。
- ・ グリーンリストを使用する上での実態把握及び課題の調査・整理を行い、今後の活用方針を検討する。

主な論点

- ・ 重点的にヒアリング・発行事例等の調査が必要な環境分野や資金調達主体はあるか。特に重点的にヒアリングをすべき金融機関や事業会社のセクターはあるか。
- ・ 中長期的には、技術の進展や国内外の状況を踏まえてグリーンリストから資金使途例の削除を検討することが必要ではないか。また、その際は時間軸の検討も必要ではないか。
- ・ グリーンリストを使用する上での実態及び課題の把握からグリーンリストの役割の整理が必要ではないか。

昨年度ヒアリングおよび第7回WGにおける主なご意見

- ・ 適応について、自然災害が顕在化している分野や影響が大きい分野は重要性が高まる。
- ・ グリーン・ソーシャルいずれにも分類されうる場合、インパクト指標を含めどのように整理すべきか。
- ・ 生物多様性分野においては、プロジェクトが小規模であり、インパクトの定量化が難しい。
- ・ グリーンインフラについて建設分野の参入が増えている。
- ・ グリーンビルの資金使途の目的として、生物多様性の要素が含まれている場合もあり、目的が見える形で生物多様性の取組が表出するように、資金使途の分類を改善してほしい
- ・ 生物多様性に関する取組はグリーン性を発揮するまでに時間を要するため、長期的にグリーンに向かう活動についても、過程を適切に評価するための指標が今後必要になる
- ・ ネガティブな環境効果は、実際の現場で生まれるものが多いことから、「ネガティブな環境効果の更なる整理・充実化」も併せて情報収集を行ってほしい。
- ・ 中小企業や地域金融機関による地域でのトランジションやグリーンなどの発行事例を確認すると良い。

検討課題③【優先課題】 グリーンプロジェクトに寄与する事業の考え方の整理

検討方針

- 2025年6月に改訂されたグリーンボンド原則（GBP）では、グリーンイネーブリングプロジェクトが適格なグリーンプロジェクトの成立及び実行に必要な構成要素であることが記載されたことを踏まえ、グリーンリストにおける対応を検討する。

主な論点

- グリーンプロジェクトに寄与する事業について、グリーンリストのカバーページの注釈の1つとして記載することが考えられるが、どのような記載の仕方が適切か。
- なお、本WGにおいて具体的な事例の検討は行わない想定。

記載案：

- グリーンイネーブリングプロジェクトとは、たとえそのプロジェクト自体が直接的な環境目的を達成しない場合でも、グリーンプロジェクトのバリューチェーン（とりわけその成立、製造、実施又はスケールアップに関連して）必要な要素であるプロジェクトを指す。グリーンイネーブリングプロジェクトの資金を調達しようとする資金調達者は、ICMAの「グリーンイネーブリングプロジェクトガイダンス文書」を参照し、資金調達を行うことも可能である。

検討課題④ 【優先課題】 国際的なガイダンス等に基づいた資金使途例の拡充

検討方針

- ICMAが公表している関連文書を主な対象としてレビューを行い、グリーンリストにおいて記載のないキーワードについて追記修正を検討する。
- なお、その他関連団体が出している文書については重要な概念等あれば内容を精査する。

主な論点

- 以下の他に調査対象とすべき国際的なガイダンス等はあるか。また、どのような基準で調査対象を選定すべきか。

調査対象候補

- IFC 「Harmonized Circular Economy Finance Guidelines」
 - ICMA 「Sustainable Bonds for Nature: A Practitioner's Guide」
 - ICMA 「Green Enabling Projects Guidance document (including June 2025 Annex on FAQ)」
 - CBI 「CLIMATE BONDS STANDARD v4.3」 、「Criteria for Certification against the Climate Bonds Resilience Taxonomy」
 - IFC 「Guidelines for Blue Finance」
 - WBCSD 「Global Circularity Protocol for Business (GCP)」
- 調査対象となった文書について、当該文書の中で紹介されている概念等をグリーンリストの小分類で拾っているかを議論するのはどうか。
 - 国際的なガイダンス等のレビューを行うにあたり、どのような観点に注目して整合性や相違点を確認すべきか。
(例：対象とする資金使途、指標、海外と日本におけるグリーン性の考え方の違い、等)

第7回WGにおける主なご意見

- グリーンボンドガイドラインはICMAのグリーンボンド原則を解説する文書であり、グリーンリスト拡充の際に参照対象となる国際的なガイドラインの範囲を過度に拡大することは難しいのではないか
- 国際的なガイドラインを参照するにあたり、調査対象のガイダンス等の選定基準の明確化が必要
- 資源循環分野は日本が強い領域でもあり、GCPもできることから、グリーンリストで可視化する方針も良い
- GCPなどは是非加えてほしい。IFC等の指標を参考にし、グリーンリストを幅広く記載すると良い
- ネイチャーポジティブやブルーなどグリーン概念の広がりにも寄与するものとして、IFCやICMAのガイドライン等を参照すると良い

今年度の改訂スケジュール

今年度の改訂スケジュール

- 昨年度に引き続き、計3回WGを開催予定。また、WG間において企業・自治体へのヒアリング等を実施する。

<改訂スケジュール（案）>

開催時期	実施項目	実施概要
2025年9月	意見募集	・ グリーンリストに関する意見募集（Call for Inputs）を実施（9月2日～10月15日）
2025年10月	第7回WG	・ 今年度改訂にむけた検討の方向性について
⋮	WG間の検討①	・ 事務局にて文献情報の収集・整理、改訂方針の検討を実施 ・ ヒアリング調査（金融機関、事業会社等へのヒアリング）
2026年1月15日	第8回WG	・ グリーンリストの改訂方針（案）について
⋮	WG間の検討②	・ 事務局にて追加情報の収集・整理、グリーンリスト改訂（案）の検討を実施
2026年3月12日	第9回WG	・ グリーンリストの改訂（案）について
2026年3月24日	親検討会への報告	・ グリーンファイナンスに関する検討会への報告
2026年4月以降	改訂案の最終化・公表	・ グリーンリスト改訂（案）の最終化作業・公表